



国際協力田運動

5月19日(土)に安曇野田の田植えを実施



**アフリカへ恒例の田植え**  
連合長野 豊科の国際協力田で

連合長野は19日、安曇野市豊科南穂高に設けている「安曇野国際協力田」で恒例の田植えを実施した。JA長野豊科が主催し、休耕田を活用し、平野地区の若年層から参加者を募集している。代かきを終え、19日(土)は、4月29日(日)に引き続き、20日(日)も実施した。参加者は1列にならんで、苗を一本ずつ植えていく。活動は朝8時から、11時30分まで。この日は、朝から雨が降っていた。参加者は、雨に濡れながらも、笑顔で田植えに取り組んでいた。収穫されたコメは、全園から集めたコメを合わせて来年度に同園へ発送される。

連合長野によると、マリは国内情勢が不安定で、干ばつにより食糧不足が続いている。5歳までの乳児の死亡率が高く、医療や医薬品などの支援も必要という。(浅井文心)



5/20 市民タイムス

国民運動・環境委員会で御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑視察



5月21日に王滝村の慰霊碑視察と木曽町で委員会開催

